



京都教育大学 (京都府)

「体験しよう！京都」 Experiencing Kyoto Program at Kyoto University of Education (EKYP at KUE)

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、147年の歴史と伝統を有しています。

本学は、教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院としては、京都の10の大学が連合し資質の高い教師を育てる「連合教職実践研究科」が設置されています。

キャンパスの面積は14万㎡で、緑が多く自然に恵まれています。附属施設として、6つの附属学校、図書館、教育資料館などがあります。



緑の美しいキャンパス
大学内の桜並木は3月末に満開になります。

② 国際交流の実績

大学間交流協定数 6（中国、韓国、カナダ、ドイツ等）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2023年：留学生数 23人、日研生 7人
2022年：留学生数 17人、日研生 5人
2021年：留学生数 19人、日研生 9人

④ 地域の特徴

京都日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

大学のある伏見区は京都市の南部に位置しています。伏見は数々の歴史ドラマの舞台となった街です。とくに酒の産地として有名で、いまでも古い酒蔵が残っています。

大学のすぐ近くには、5月5日の端午の節句の発祥の地である藤森神社や、赤い鳥居が美しい伏見稲荷大社があります。

大学から京都の街の中心部までは電車で15分程度で、交通も大変便利です。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(a)主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

教育は文化であり、文化は教育によって継承されます。「体験しよう！京都」は、教育を切り口に日本を体験的に理解することを目的としたプログラムです。

大学での授業を受ける以外に、コミュニティ・ラーニングなどを通じて地域の人々と交流する機会をたくさん準備しています。日本語の実践力を向上させるとともに、教科書の中の日本とはちがう、自分なりの視点から日本に対する理解を深めることができます。

③ 受入定員

11名（大使館推薦10名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・原則として、日本語・日本研究等を専攻する者
- ・日本語能力試験（JLPT）のレベルN3以上に合格している者

⑤ 達成目標

<日本語>

終了時にCEFRまたはJFスタンダードB2に相当するレベル (CEFR: Common European Framework for Reference, JF: Japan Foundation)

<日本文化>

日本文化を理解するための、幅広く、ユニークな観点を獲得する。

⑥ 研修期間 (在籍期間)

研修期間：2024年 9月下旬～ 2025年 9月下旬

(在籍期間：2024年10月 1日～ 2025年 9月30日)

※授業開始に間に合うよう、2024年9月末日までに来日してください。

※修了式は2025年9月下旬を予定しています。

⑦ 奨学金支給期間

2024年10月 ～ 2025年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日 (2023年は9月21日～22日)

9月： オリエンテーション

4月： 個別研究中間発表会

7月： 国際交流実地見学研修

8月： 個別研究修了発表会

9月： 修了式

9月下旬：帰国 (2023年は9月30日)

この他にも、伝統文化体験や留学生会主催のパーティー (年4回) があります。



国際交流実地見学研修 (岐阜県) にて。

⑨ コースの修了要件

以下の修了要件を満たした者には修了証明書を授与します。

- (i) 必須科目 (世界の教育60時間、日本語120時間、一般科目180時間以上) の単位修得
※ 取得した単位については、成績証明書の発行が可能。
- (ii) コミュニティ・ラーニング (活動参加とレポート作成)
- (iii) 個別研究 (発表とレポート作成)

● 個別研究のテーマ例

「谷崎潤一郎『陰翳礼讃』における五感について」

「京都の人のお守りに対する信仰」

「第二言語教育に関する考察－韓国の中高等教育機関での日本語教育の在り方を中心に」

「日本のイノベーション促進に向けた人材面の取り組み」

「ブラジル日系人と日本人を対象とした「感情的な思い出」についてのアンケート調査とその分析」

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

シラバス

<https://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html>

授業はすべて日本語で行われます。

1) 研修・コース科目の特徴

「教育」という切り口から日本を体験的に理解します。日本人学生と一緒に大学の授業を受ける以外にも、コミュニティ・ラーニング等で交流し、日本に対する理解を深めることができます。

2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目

- ・ 世界の教育 A 30時間
- ・ 世界の教育 B 30時間
- ・ 日本語 (3つのレベルから選択) 120時間

II) 選択科目

本学学部生向けに開講されている科目のうち「日本語学・日本語教育学」「文化・芸術」「開発教育・国際教育」の各分野から選択した授業の履修分野毎に60時間以上、合計180時間以上

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加できる科目及びその具体的な内容

・ コミュニティ・ラーニング

大学のサークルや市民ボランティア活動に参加しレポートを作成します。日本社会にゲストとしてではなく社会の一員として参加する体験を通じて、日本社会についての理解を深めます。

活動時間 30時間以上

・ 国際交流実地見学研修

日本人学生といっしょに歴史史跡や文化施設を見学します。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

- ・日本語科目以外は全て正規の大学の授業です。日本人学生といっしょに学びます。
- ・個別研究発表会や研修旅行には日本人学生も参加し質疑を行います。
- ・世界の教育A及びBは、本学の全ての学科の教員が交代で担当し、本学の全留学生と日本人学生も受講します。日本文化について、日本人学生との共修を通じて様々な角度から考える機会になります。

5) その他

授業科目以外に、地域との交流プログラムや京都市国際交流協会の国際理解プログラムPICNIKに参加することができます。地域の学校を訪問して自分の国を紹介します。また、京都市内の公立学校で、外国から来て日本語がわからない子どもたちを支援する、「学校通訳ボランティア事業」への登録の紹介も行っています。

⑪ 指導体制

研修生は教育学部に所属し、教育学部教員の指導を受けます。指導教員が推薦したチューターが学習と生活を支援します。

また、プログラム担当教員がプログラム履修全般の相談に対応します。プログラム教員：濱田 麻里・赤松 大輔・岡田 雄樹（国際交流委員会）



学生主催の文化体験。伏見稲荷でお月見。

■宿 舎

本学が管理する国際交流会館に入居することができます。

○家賃

- ・家賃（5,900円／月）＋共益費（5,900円／月）

入居時に保証金として20,000円が必要です。これは原則、帰国時に返金されます。

○宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、ミニキッチン、家具類が備え付けられています。寝具は必要に応じてレンタル出来ます（約19,800円/年）

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにスーパーマーケット、病院、公園等があります。大学まで徒歩で約15分、京都の中心まで約30分です。

■修了生へのフォローアップ

研修終了後も指導教員がメールで相談に応じています。また、修了生同士はSNSで交流を続けています。

これまでの修了生の多くは、研究留学生として再来日しています。日本の大学院で学位を修得した後、母国や日本の大学で教員として後輩を育てています。

企業や官公庁などに就職し、学んだ日本語を使って日本と母国の架け橋として活躍している人もいます。

■問合せ先

<担当部署>
京都教育大学学生課学生支援グループ

住所： 〒612-8522
京都府京都市伏見区深草藤森町1番地

TEL： +81-75-644-8159（直通）
FAX： +81-75-644-8169
Email： intel@kyokyo-u.ac.jp

<ウェブサイト>

京都教育大学：
<https://www.kyokyo-u.ac.jp>

日本語・日本文化研修留学生プログラム「体験しよう！京都」

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/student/ehp/to-this/ekyp/>



マスコットキャラクター そったくん
そったくんは、禅の教え「啐啄同時」に関係があります。雛鳥が外に出ようと殻を吸う瞬間に母鳥が外からつつくことが大切なことから、教育全般のありかたについての教えになっています。そったくんは、教育者養成を目的とする京都教育大学を象徴化しています。